

大鹽左馬太事件

帝キホ時代映畫
原作脚色並監督者 壽々喜多呂九郎
撮影者 香川昌平
— 主要役割 —

紫頭巾

時代映畫



起す、更に久戸源碧雲なる怪傑否人山師現れ飢えたる武家失業者を糾合して倒幕の大結団となれど、其の主導は吉田より出軍の爲め金なししめん奸計の手で、紫雲頭巾の用心棒といふ新威業現れ、各所に浪人の要職頓に激増、ために武家失業者はいつしか救濟され、結社は瓦解する。すると不思議や紫雲頭巾の姿は忽ち市井より影を没した。その可解は彼の正体をつきさめんとして佐平次親分の大活躍となるのである。